

市交通安全教育車お披露目



松山のぞみ幼稚園園児と教育車



市交通安全教育車

4月5日、市民の方からの寄付で購入した市交通安全教育車のお披露目式を行いました。

市交通安全マスコットの「カバッキー」とその彼女「カバリん」をラッピングした教育車は、歩行者や自転車運転者の目線で疑似体験ができるシミュレーターなどの教育機材を搭載しています。今後子どもから高齢者まで全世代を対象にさまざまなイベントなどに出動し、参加体験型の交通安全教室を行います。

〒都市・交通計画課
☎948 6421
FAX 934 1807

地域力の維持強化を目指して

新たに地域おこし協力隊1名就任



野志市長に抱負を語る山田さん

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化が進む地域で、域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動をしながらか、定住や定着を促し、地域力を維持、強化する制度です。

本市では平成28年8月からこの制度を採用し、現在、忽那諸島と五明地区で隊員が活動する中、今年4月、新たに山田健生さんが忽那諸島の地域おこし協力隊に就任しました。今後、地域の魅力を、地元と一緒に発信していきます。

山田さんは「将来、忽那諸島でベーカリーカフェを開業したい。まずは、地域のことをしっかり学び、これまで培ってきたノウハウや知識を生かしてがんばりたい」と意気込みを語りました。

〒坂の上の雲まちづくりチーム
☎948 6816
FAX 934 1821

新入学児童に防犯下敷きを贈呈



児童に下敷きの説明をする市防犯協会 会長野志市長

小学校入学児童に防犯を周知啓発するため、4月3日、市役所で、代表の児童3人に、防犯啓発標語「いかのおすし」が掲載された下敷きが贈呈されました。

これは、松山東・西・南区防犯協会が合同で、全入学児童を対象に作成し、配布しているものです。

〒市民参画まちづくり課
☎948 673
FAX 934 3157

4月16日

「ミシュランガイド広島・愛媛2018特別版」出版



出版記念イベントに出席した関係者

100年以上の歴史があるミシュランガイドが、「ミシュランガイド広島2013特別版」の更新に合わせ、国内16エリア目として愛媛県を加え、新たに発行されるのに先立ち、

4月10日、道後温泉別館飛鳥乃湯泉で出版記念セレモニーが開催されました。

日本ミシュランガイド事業部担当の伊東孝太郎氏は、「ガイドをもとに実際に体験してどう感じるかが大事」と話し、野志市長は「これからの広島・松山周遊ルートを生かした観光誘客につながる」と期待を寄せました。

■「ミシュランガイド」について
厳選した飲食店・レストランと宿泊施設を星の数で評価し紹介する書籍。

※ウェブサイト(英語版) <http://gmhir.shima.gnavi.co.jp> 公開中

■評価を受けた飲食店・宿泊施設が県内に登場

【飲食店】二つ星3軒(全て松山市)、一つ星10軒(うち松山市7軒)、その他171軒(うち松山市91軒)

【宿泊施設】最高評価2軒(全て松山市)を含む32軒(うち松山市21軒)

〒観光・国際交流課 ☎948 6555
FAX 943 9001

松山の魅力発信を目指して

2018年度松山マドンナ大使就任



(写真右から)長曾我部茜さん、青木祥子さん、富士菜々香さん

本市の魅力や特産品を全国にPRするために観光大使として活動する2018年度松山マドンナ大使の長曾我部茜さん、青木祥子さん、富士菜々香さんが4月2日、野志市長を訪問しました。

松山マドンナ大使の皆様

さんが抱負を語り、野志市長は「松山の魅力を高める仕事。観光や農林水産などPRと一緒にがんばりましょう」と激励しました。

〒(公財)松山観光コンベンション協会 ☎935 7511
FAX 921 0286



協定書を締結した松山衛生事業(協)加藤代表理事(右)と野志市長

地震や風水害などの災害で市内の下水道施設に緊急の対応が必要になった場合に、汚水や汚泥のくみ取りや収集運搬をするため、3月30日、本市と松山衛生事業協同組合が「災害時の下水道施設のくみ取り等に関する協定書」を締結しました。

締結式で同組合の加藤正之代表理事は、「定期的に協議を重ね、災害時の万全の体制づくりを進めていきたい」と語り、野志市長は、「平成22年度に環境部と締結いただいた。市民生活に直結するので、連携して、災害に備えたい」と述べました。

〒下水道政策課 ☎948 6818
FAX 934 5862

「災害時の下水道施設のくみ取り等に関する協定書」締結式